

二〇二三年度 入学試験問題

国 語

第一回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから八ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

えなさい。

これらを読んで後の問いに答

5

10

15

20

25

90

85

80

75

70

65

120

115

110

105

100

95

問一 — (1) 「スーパーで買い物するとき」とありますが、このとき人が一般的にしていることは何ですか。最も簡潔に述べた十字以内の表現を本文から抜き出しなさい。

問二 — (2) 「ホモ・エコノミクスの『近代性』」とありますが、筆者はなぜ「近代性」と強調しているのですか。二行以内で説明しなさい。

問三 — (3) 「いまでは忘れ去られたこうした歴史をたどる」とありますが、これはどういうことですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 商業の拡大によって発見された外国製品や商取引による市場化がいかになくなっていったかを歴史的にたどること。

イ 利子により金銭を蓄積し、資本を殖やしていくような生の様式がいかになくなっていったかを歴史的にたどること。

ウ 自己利益を目指して金儲けをすることが道徳であるという考えがいかになくなっていったかを歴史的にたどること。

エ 金儲けは人としてよくない生き方であるという道徳的な抵抗感がいかになくなっていったかを歴史的にたどること。

問四 — (4) 「根本的に誤った価値観と結びついているのではないか」とありますが、そのように言えるのはなぜですか。三行以内で説明しなさい。

問五 — (5) 「一八世紀の富と徳の問い」とありますが、これについては【文章Ⅱ】で詳しく述べられています。【文章Ⅱ】では、筆者はアダム・スミスの考えを紹介していますが、それによれば、アダム・スミスはどのようなことを考えていますか。【文章Ⅱ】の内容に即して、三行以内で説明しなさい。

問六 — A 〓 D に入れる語としてふさわしいものを、次のア～エの中からそれぞれ一つ選びなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア むしろ イ しかし ウ そして エ しかも

問七 — (ア) (オ) のカタカナを漢字に直しなさい。

問八

【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】の全体を通じて、その内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「合理的経済人」という意味のホモ・エコノミクスは、古くはヨーロッパのキリスト教道徳に基づく考え方から生まれたものであり、一八世紀に盛んに議論されていた。

イ 金持ちが尊敬され、貧乏人は嫌われるという、一八世紀のヨーロッパでは一般的だった考えは、アダム・スミスの業績により、二〇世紀には真剣しんけんに問われることはなくなった。

ウ 現代の深刻化する環境問題かんきょうの解決にあたっては、もはや富と徳のあり方を根本から見直すことが不可欠であるが、その際にアダム・スミスの著作からヒントを得ることができる。

エ 富や権力のある人間と、知識や徳を持つ人間とは、道徳的な価値観から見ると同じ性格のものであるので、私たちは今、まさに両者を併あわせ持つことが求められている。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

130

125

120

115

110

105

100

問一

——(1)『プライドが傷つく』っていうんだぞって、教えてくれた。寧音は『誇り高い』んだなって。」とありますが、「プライド」や「誇り」などに関する慣用句について、それぞれ（ ）の意味に合わせた次の空らんに入る語を、1は漢字一字またはひらがな二字で、2、3は漢字一字で、4は漢字二字で、5はひらがな二字で書き、慣用句を完成させなさい。

- 1 で 風 を 切 る (得意そうにふるまう)
 2 を 張 る (誇りに思う)
 3 高 高 (たいそう得意げな様子)
 4 得 意 (誇らしそうな様子)
 5 で 使 う (いばった態度で人に仕事をさせる)

問二

——(2)「この話を誰にもしなくなった。」とありますが、

(一)「この話」とはどんな話ですか。四十字以内で説明しなさい。

(二)「誰にもしなくなった」のはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。

問三

——(3)「声がものすごくちゅちゅて」とありますが、「かすかで弱々しい声」のことを意味する慣用句を書きなさい。

問四

——(4)「わたしはときどき考える。比企さんにとってのスウは、わたしにとつての野乃みたいなものなのかもしれないって。」とありますが、「わたし」はどういうことを考えているのですか。三行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「テーブルにはなぜかおそばが。」とありますが、このときの「寧音」の「おそば」に対する感じ方はどう変わったか。最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 母がいつもは嫌いなおそばを食べていたので不気味に思ったが、妊娠して食事の好みが変わったのだろうと推測した。

イ 母はいつもおうどんを食べるので不気味に思ったが、テーブルの配置も含めて急に気が変わったのだろうと推測した。

ウ 母は父と一緒にいる時におそばを食べないので不気味に思ったが、寧音の気持ちを確かめているのだろうと推測した。

エ 母がおそばを食べる姿は不気味に思ったが、それは「おねえちゃん」になる寧音を配慮してのことだろうと推測した。

問六

——(6)「そう思った瞬間、胸の中がチクリとした気がした。」とありますが、このときの「寧音」の心情を二行以内で説明しなさい。文末は「…心情。」としなくてよい。

問七

□ A □ C に入れる語としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア さざざら イ ねばねば ウ しくしく エ いらいら
オ ぞろぞろ カ じめじめ キ ばらばら ク うきうき

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 母と父は、出産時に亡くした野乃に対する追悼の思いから、いつまでもテーブルの席に野乃の場所を作って寧音の悲しい気持ちを慰めてくれている。

イ 寧音は、自分の経験をクラスの女の子たちに話したとき、「かわいそう」と言われて落胆し、それ以後、自分の経験を話すのはやめようと決めている。

ウ 母の妊娠を知った時、寧音は大変驚き、喜んだが、一方で今も大切に思っている野乃の存在を母はすっかり忘れてしまったのかと寂しく思っている。

エ 寧音は、空想の友だちがいるという比企さんがいじめられるのは理不尽であると思っており、まりもや榎山の比企さんへの態度に不満を抱いている。

